

2022年5月12日

滋賀県が発行する 「サステナビリティリンクボンド」への投資について



京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、このたび、滋賀県が発行するサステナビリティリンクボンド（以下 本債券）への投資を決定しましたのでお知らせいたします。

「サステナビリティリンクボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標の達成条件に応じて財務的・構造的に変化する可能性のある債券のことを指します。発行体があらかじめ定めた重要な評価指標とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、SPT）によって評価され、発行体に SPT 達成に向けた動機付けを与える債券です。

本債券の発行条件と連動する SPT としては「滋賀県庁にて、2030 年度に 2014 年度比で温室効果ガス排出量 50%削減」を設定しています。投資を通じて、滋賀県の SPT 達成に向けた取り組みを支援することで、温室効果ガス削減に向けた取り組みが推進され、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献するものです。

当金庫は、社会的課題や環境問題の解決に繋がる事業、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし持続可能な社会の形成に寄与すべく、今後も社会的使命・役割を果たして参ります。

記

<サステナビリティボンドの概要>

債券名	滋賀県第1回サステナビリティ・リンク・ボンド公募公債
年限	10年
発行額	50億円
発行日	2022年5月12日

以上